

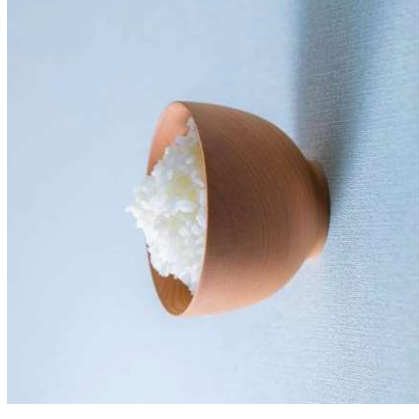
# 農業 | 米を中心としたまちの主要産業

## 基幹産業としての誇りと自信 北海道屈指の米どころ

大雪山旭岳のミネラル豊富な地下水で米作りを行う東川町。2019年には、北海道のブランド米「ゆめぴりか」の「ゆめぴりかコンテスト」で東川米が最高金賞を受賞し、日本穀物検定協会が実施する米の食味ランキングでは、最高ランクの「特A」を2011年以来、連続獲得し続けています。

このように評価が高いのは、恵まれた環境に起こることなく、地元農家とJAひがしかわが制定した独自の厳しい生産基準「東川米信頼の証10か条」や「水とくらす5か条」をしっかりと守り、安全と品質を向上する取り組みを行っているためです。このお米や水を求めて、東川に店を構えるため全国から移住してきた人たちも多々います。

- 水田作付面積：約2,300ヘクタール
- 農家戸数（米作）125戸（平均作付面積約18ha）
- 「東川米」ブランドの確立
  - ・水の良さを生かした厳しい栽培基準
  - ・「東川米」地域団体商標の取得
  - ・「生活協同組合コープさっぽろ」でのブランド米展開
  - ・首都圏等での販売網の樹立
- ・2019年「ゆめぴりかコンテスト」金賞受賞
- ・JA東川、岩塚製菓と「ふわっと雪どけ煎餅」開発



# 木工家具 | 東川メイドの「旭川家具」

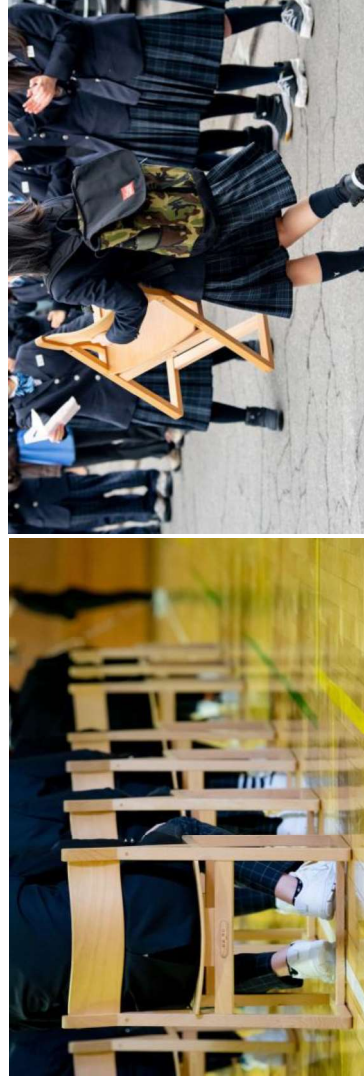
## 暮らしの中に「家具」が溶け込む 子ども頃から本物に触れる

### ■君の椅子プロジェクト

「誕生する子どもを迎える喜びを、地域の人々で分かち合いたい」。このプロジェクトは、旭川大学大学院ゼミのそんな会話から始まりました。

東川町で生まれる子どもたちに、**椅子を贈る「君の椅子」プロジェクト**。手づくりの椅子を通して、子どもの成長を温かく見守りたい、そんな願いが込められています。名前や生年月日を刻印してプレゼントしています。

参加市町村：東川町、剣淵町、愛別町、東神楽町、中川町、長野県売木村、福島県葛尾村



### ■中学校の「学びの椅子」

**中学校で3年間使った自分の木製の椅子を、卒業時に記念として持ち帰ることができるプロジェクト**。家具のメンテナンスをする授業も。家具を身近な存在にという意味と、家具事業者支援の意味も含まれた、家具産地のまちならではの取り組みです。



# 観光 | 注目が集まるまちなかのお店

## 豊かな水資源を活用した 飲食店やカフェのあるまちなみ

町内には、天然水を生かしたコーヒーが飲めるお店や東川町の景観にマッチしたお店が点在しています。  
**食事のクオリティの高いお店が集まり、東川町を訪れる人たちの楽しみにもなっています。**

東川町の飲食店を繋ぐための動画プロジェクト「**東川 FOCUS on gourmet**」も実施し、町内飲食店の積極的な支援も行っています。



町内には、アウトドアブランド「モンベル 大雪ひがしかわ店」もあり、大雪・旭岳SEA TO SUMMITの開催やモンベルフレンドエリア等を通じて、アクティビティに適した「旭岳・天人峡エリア」の魅力発信について連携を進めております。

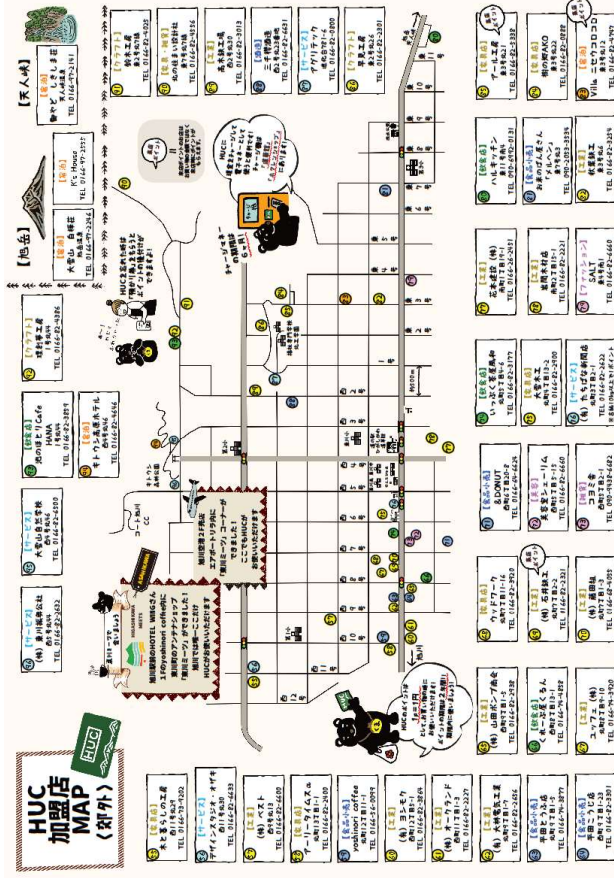
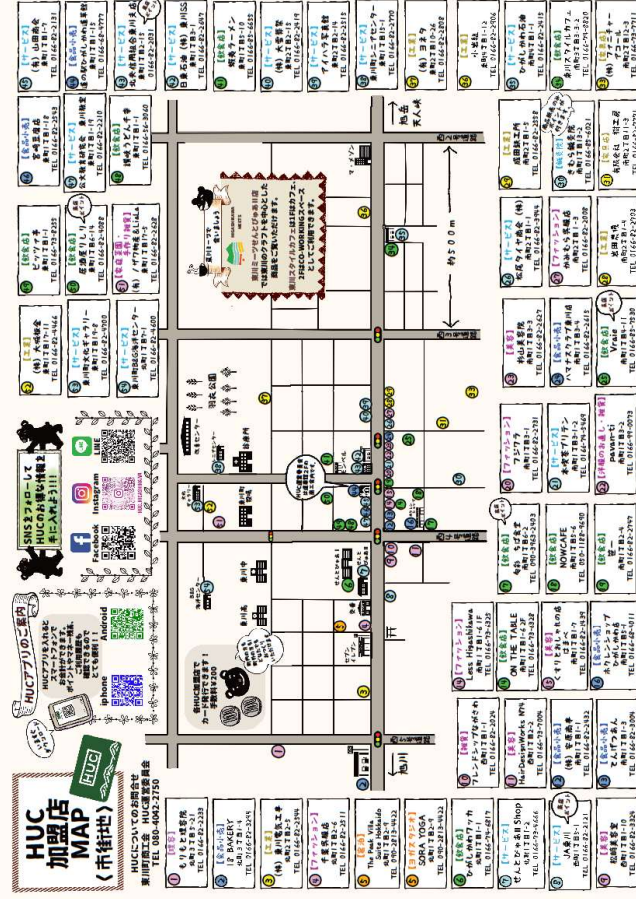


東川町の物産を集めたアンテナショップ「東川ミーツ」も町内に2店舗存在します。旭川駅前1店舗、旭川空港に1店舗に展開しており、東川町で生まれる商品に触れる機会を増やしています。

# 観光 | 注目が集まるまちなかのお店

## 産業振興としてのHUC(フック) (ひがしかわユニバーサルカード)

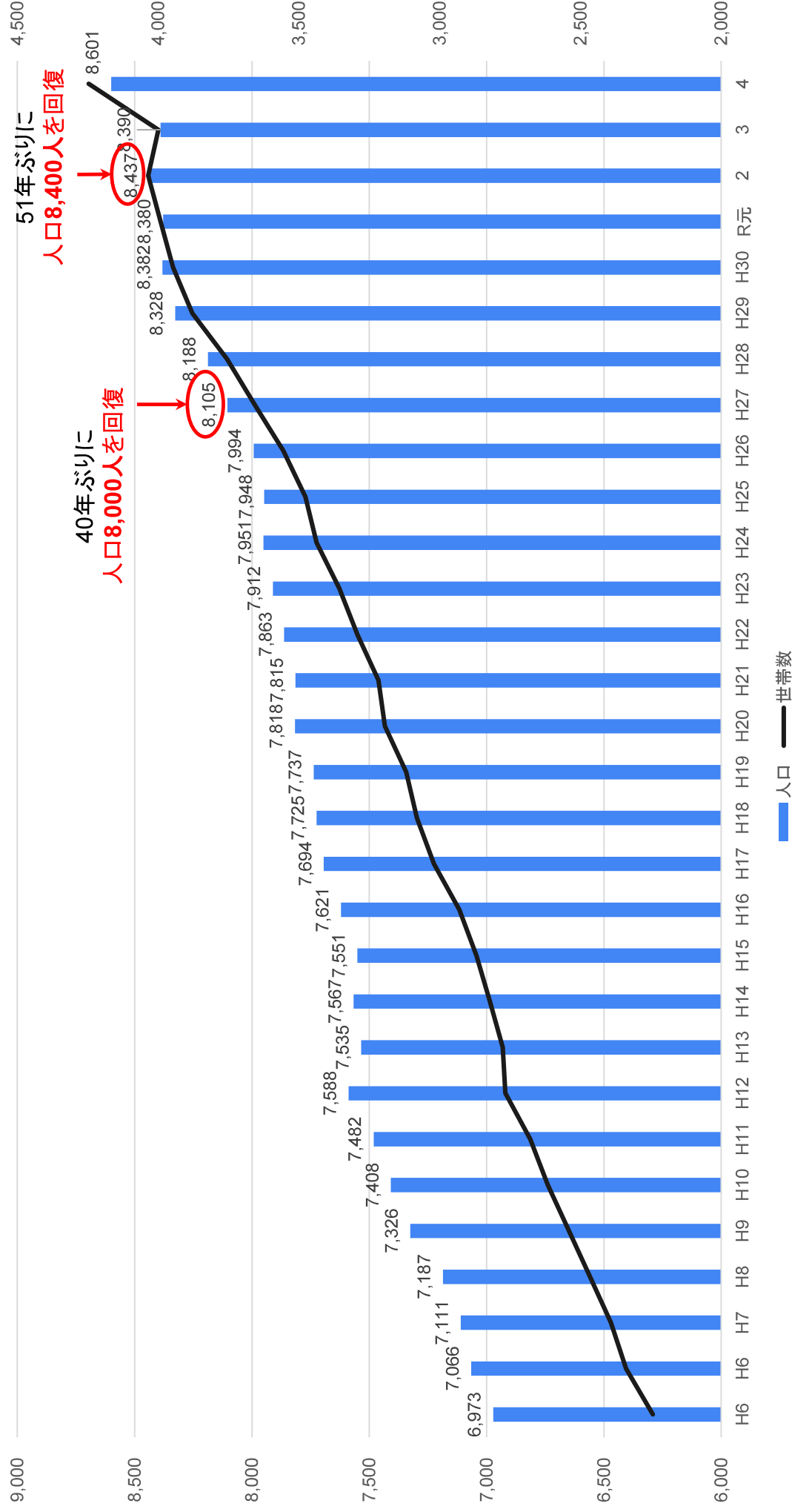
地域内で経済の循環をめざして、2017年11月にスタートした、IC式ポイントカード「HUC(Higashikawa Universal Card)」。町内100以上の店舗で利用できるほか、イベント参加でポイントが付与されるなど、様々な取り組みを実施しています。現在はアプリもスタートし、町内80%が利用、町内外含めて約10万人の利用者がいます。(カードが8万人、アプリが2万人)





# 25年間で人口が約2割増加 | 定住人口の推移

25年にわたって、ゆるやかに人口が増加



# 子育て・教育 | 東川町の小学校

## 平屋建ての東川小学校

平屋建てのオープン教室、廊下270m、学校敷地4ヘクタール、公園12ヘクタール（人工芝サッカー場・天然芝軟式野球場・多目的芝生広場・1ヘクタールの体験水田・体験農園・果樹園）と、北海道ならではの広々とした小学校です。学童保育機能を持つ地域交流センターも隣接。敷地内には安田侃氏の彫刻作品などが設置され、約380名ほどの子どもたちが本物を体感しながら学んでいます。



東川町には、小学校が東川小学校の他に3校あります。第一小・第二小・第三小は複式学級となります。

- ◆小学校生徒数
- ・東川小学校（約380人）
- ・東川第一小学校（約30人）
- ・東川第二小学校（約40人）
- ・東川第三小学校（約20人）



## 「東川らしい」、婚姻届と出生届

婚姻届・出生届を、より自分たちにとって思い出しに残してもらえようなものとして事業化しています。東川らしさを町内外に感じてもらえる事業のひとつです。普通の婚姻届や出生届は提出のみですが、**写真付きで手元に残るのが、東川町の婚姻届、出生届の特徴です。**

### <婚姻届>

新しい婚姻届は、2005年10月3日からスタートし、大切な「とき」と「思い」を詰め込んだ記念品を、結婚するふたりに贈られてきました。夫婦になった瞬間の写真を撮影してプレゼントします。また記念のメッセージシートにメッセージを残し写真と共に「写真の町」東川文化ギャラリーに保存されます。提出するときに素敵なセレモニーとし、その形を幸せな2人の手元に残せたら...そんな思いから生まれました。

### <出生届>

出生届は2005年11月1日からはじまりました。親の優しさで温かさの中で夢と希望に満ちて成長する子どもが、その出生届をいつまでも大切な記念として思い出しに出来たら、家族の絆はより強いものになるでしょう。

